

各常任委員会行政視察報告

5月の下旬に、総務、民生、建設産業、文教の4常任委員会が、それぞれ行政視察を行ってまいりました。各常任委員会の報告は以下のとおりです。

総務常任委員会

5月21日～23日(所管事項調査)

一 大分県豊後高田市

「移住定住について」

官民一体で人口減少問題に取り組んでいる。「住みたい田舎ベストランキング」6年連続ベスト3、2018年は第2位に輝く。

移住定住関連補助金の種類の多さ(155項目の支援事業)と切れ目のない施策が結果につながっている。

三 東京都

NPO法人ふるさと

回帰支援センター

「移住定住の取組みと連携について」

大田原市移住・定住サポートセンターとの連携強化。行政の感覚より民間の視点で、一般の方の目を引く広報PRを行い、ワンストップサービスに努めている。

二 福岡県福岡市

「防災減災について」

行政は支援する側、市民は支援される側という括りはなく、市民・企業・NPO・ボランティアと一緒に支援することができ「共創」の取組みを始めた。市民同士が防災意識を共有できる防災ママカフェや女性の視点を生かした「防災ミニブック」など市民目線での活動が広がる。

民生常任委員会

5月16日～18日(所管事項調査)

一 東京都港区

「港区エコプラザについて」

本施設は、区民が気軽に集まり、「環境」について理解を深める体験型の施設である。様々な企画事業や講座や豊富な展示コーナーを通して、身近な気づきの啓発に貢献している。

三 沖縄県那覇市

「エコマール那覇

プラザについて」

本施設は、ごみの減量・資源化を推進するための啓発施設である。活動の中心は市民であり、「市民目線」に立った事業として、各種のリユース・リメイク講座、施設見学の受け入れ、レンタル事業、リユース市、再生工房の開催、情報発信チラシの配布を行っている。

二 沖縄県うるま市

「健康福祉センター

うるまについて」

本施設は、市民の健康保持増進と福祉活動の拠点としての保健相談センター機能と福祉センター機能を有している。館内には温水プールと運動指導室、社会福祉協議会、市健康支援課があり、健康福祉拠点施設の役割と魅力あるイベントやセミナーも充実している。



NPO法人ふるさと回帰支援センターにて



港区エコプラザにて